



■第7時の指導案

【本時のめあて】

調べた仕事について、報告する文章の組み立てを理解する。

【評価】

調べた仕事について、報告する文章の組み立てを理解している。

学習活動	◇指導上の留意点 ◆評価	デジタル教科書の活用例（数字は学習活動の番号）
<p>①整理した報告したい内容を確認する。</p> <p>②本時のめあてを確かめる。 「調べた内容が相手に伝わるような報告文にするための組み立てを考えよう。」</p>	<p>◇学習の見通しをもつために、学習計画のどの段階にいるのかを確認する。</p> <p>◇課題意識を明確にするため、自分が報告したい内容をどんな組み立てで文章にすればよいかを問い、考えさせる。</p>	<p>・P92「学習のすすめ方」を提示しておく。</p> <p>(①)</p> 
<p>③「ワーク」＜アドバイスを考えましょう＞を読む。</p> <p>④＜アドバイスを考えましょう＞の不十分な点について個人で考え、ノートに記述する。</p> <p>⑤見出した不十分な点について全体で共有する。</p> <p>⑥不十分な点をもとに、どんな情報があれば調べたことが分かる文章になるかを確認する。</p>	<p>◇報告する文章に必要な要素を見出すために、＜アドバイスを考えましょう＞から不十分な点があることを確認する。</p> <p>◇組み立てを考える視点につなげるために、＜アドバイスを考えましょう＞からは、仕事に関して十分に分からない点について考えさせる。</p> <p>◇焦点化した意見交流とするために、発言の際には、注目した部分に線を引かせる。</p> <p>◇調べた仕事について、報告する文章に必要な組み立ての要素を確認するため、「こんな情報があつたらよい」ということを考えさせる。</p>	<p>・＜アドバイスを考えましょう＞の報告文から、読み手にとって不足している情報を考える。</p> <p>(③)</p>  <p>・発表する際に、情報が不足している部分に線を引く。(⑤)</p> 
<p>⑦報告する文章の組み立てを確認し、学習をまとめる。</p>	<p>◇次時への学習の見通しを持たせるため、自分が調べた内容を文章の組み立ての項目ごとにあてはめて考えさせる。</p> <p>◆調べた仕事について、報告する文章の組み立てを理解している。</p>	